



5 万分の 1 地質図幅の新刊

三 瓶 山

S A M B E S A N

5 万分の 1 地質図幅
地域地質研究報告

著 者 服部 仁・鹿野和彦・鈴木隆介・横山勝三
松浦浩久・佐藤博之

発 行 工業技術院 地質調査所

取 扱 先 東京地学協会 (03)261-0809 262-1401
そのほか全国主要書店

販売価格 3,600円

中国地方中央部は 5 万分の 1 地質図幅の大きな空白地域として取り残されており これを埋めていくことが各方面から要望されていた。また 昭和52年5月2日及び53年6月4日にこの地域において地震が発生し 昭和53年に地震予知研究上緊急かつ重要な地域として「島根県東部」が指定された。このような中において 幸い 長年三瓶火山を研究されてきた中央大学鈴木隆介教授 熊本大学横山勝三助教授の成果を加えここに完成し 発行されたことは誠に嬉しい。

本地域は 西南日本内帯の中国山地北西方に広がる石見高原の中央部に位置し その中央を三瓶火山が占めている。一方山陰・山陽両帯の白亜紀～古第三紀火成岩類の接点にも当たり地質学的にも重要な地域である。

流紋岩類(白亜紀後期) ②乙原花崗岩などの古第三紀前期侵入岩類 ③高山層群 ④石見花崗岩などの古第三紀中期侵入岩類 ⑤川内層群及び⑥古第三紀後期侵入岩類に大別されている。しかし役者が多いだけに その区分 対比に多大の労苦を伴ったものと推察される。

新第三系は中新統の波多層・川合層・久利層・大森層がわずかながら分布しているが 大森層を除けば各層の模式地が含まれている点が注目される。また 瓦粘土を産するので有名な鮮新統?～更新統の都野津層群も西部に広く分布する。

本地域の中央部を広く占めるのは石見花崗岩であるが その中心よりやや北寄りの所に三瓶火山が位置する。三瓶火山については既に久野久先生の名著「火山及び火山岩」(1954)にも記載されている。この三瓶山図幅と研究報告書には火山噴出物の詳細な層序・分布とともにその形成史まで詳述されており大変な力作である。ベースサージ堆積物がみつかるなど新たな成果がたくさん盛りこまれている。

大変複雑な地質の地域で 各地質系統の放射年令測定を数多く実施されているもの 問題点が幾つか残されているようである。本地質図幅はこの周辺の5万分の1地質図幅の最初の研究成果であり また報告書内に詳しい研究史が加えられていることもあって貴重な総合的地質資料となっている。

地質ニュース	第350号	10月号
	定価 ¥540	干実費
昭和58年10月1日	発行	
編集	工業技術院 地質調査所	
発行人	林 久 雄	
発行所	株式会社 実業公報社	
印刷	東京都千代田区九段南4の2の12	
	Tel. (03) 265-0951 (代表)	
	振替口座 1-32466	
総発売元	株式会社 実業公報社	
	出版事業部	

本地域の白亜紀～古第三紀火成岩類は ①邑智層群・新造寺山